

第233号 令和7年8月1日

かくだ市議会だより



【今号の表紙】『静物画』

角田高等学校 美術部 吉田 有希 さん
F40号 油彩

縄の質感やビンの文字を丁寧に描くように意識しました。
ぜひ見て下さい♡

第432回定例会

■概要・質疑	2	■議案審議結果	3
■一般質問	4～11	■自由討議	12

角田市議会から

■令和6年度政務活動費収支報告	13	■議会だより表紙写真等募集	14
-----------------	----	---------------	----

審議結果一覧

○…賛成 ×…反対 ―…退席又は欠席 議長（馬場 道晴）は採決に加わらない。

提出者	議案番号	件名	審議結果 (賛成:反対)	会派一心				かくだ未来倶楽部			日本共産党 角田市議員		無会派 (会派に所属しない議員)					
				菊地 利衛	小湊 毅	戸村眞喜夫	渡邊 誠	武藤 広一	菅野 マホ	瀧口 聖人	日下 七郎	八島 定雄	齋藤 克敏	湯村 勇	齋藤 強	星 隆悦	柄目 孝治	堀田 孝一
市	議案 第32号	専決処分の報告並びにその承認を求めることについて (令和6年度角田市一般会計補正予算(第10号))	承認 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案 第33号	専決処分の報告並びにその承認を求めることについて (角田市市税条例の一部改正について)	承認 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案 第34号	専決処分の報告並びにその承認を求めることについて (角田市都市計画税条例の一部改正について)	承認 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案 第35号	専決処分の報告並びにその承認を求めることについて (角田市国民健康保険税条例の一部改正について)	承認 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案 第36号	専決処分の報告並びにその承認を求めることについて (令和7年度角田市一般会計補正予算(第1号))	承認 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案 第37号	角田市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する 条例の一部改正について	可決 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案 第38号	角田市市税条例の一部改正について	可決 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案 第39号	角田市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の 基盤強化に係る固定資産税の課税免除に関する条例の一部 改正について	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	
	議案 第40号	角田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運 営に関する基準を定める条例及び角田市家庭的保育事業 等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 について	可決 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案 第41号	令和7年度角田市一般会計補正予算(第2号)	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	
長	議案 第42号	令和7年度角田市介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	
	議案 第43号	令和7年度角田市水道事業会計補正予算(第1号)	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	
	議案 第44号	令和7年度角田市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	
	議案 第45号	令和7年度角田市防災行政無線システム整備工事請負契 約の締結について	可決 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案 第46号	財産の無償貸付について(角田消防署移転用地)	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	
	議案 第47号	財産の減額貸付について(旧藤尾小学校)	可決 (13:2)	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	
	議案 第48号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関す る条例の一部改正について	可決 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議案 第49号	令和7年度角田市一般会計補正予算(第3号)	可決 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	議員	議会案 第3号	再審法改正を求める意見書の提出について	可決 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会案 第4号		地域医療を守る医療機関に対して、事業と経営維持のため、診療報酬の期中改定を求める意見書の提出について	可決 (15:0)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

議員表彰
議員25年以上
湯村 勇 議員

（特別表彰）

▶定例会初日に、全国市議会
議長会表彰状の伝達が議
場で行われました。



国の関係機関に意見書を提出
再審法改正を求める意見書

【内容】 えん罪被害者を救済する証拠開示のルールを定めた法律の制定が必要である。

地域医療を守る医療機関に対して、事業と経営維持のため、診療報酬の期中改定を求める意見書

【内容】 医療機関や介護施設で働く全ての労働者の処遇改善等の措置を講ずるよう求める。

第432回
定例会
6月

第432回定例会は6月6日から6月23日までの18日間の会期で開かれました。市長から提案のあった条例の改正、新中学校建設に向けた適地選定・基本計画策定に係る委託料の補正予算などの議案18件を審議し、原案のとおり可決・承認しました。

また、一般質問では、13人の議員が、市政全般にわたり論戦を繰り広げました。

最終日には、意見書の提出に関する議員提出議案2件について、全会一致で可決しました。

議案第38号

市税条例の一部改正

創設された特定親族特別控除について説明を求める。

国の税制改正大綱で、物価上昇における税負担の調整と就業調整対

策の観点から、19歳から22歳までの子等の控除が拡充された。特に大学生アルバイトの年収を扶養の範囲に収めるための調整に対する対策である。

議案第41号

一般会計補正予算（第2号）

地域振興費

（行政区等事業）

120万円

学校管理費

（中学校施設整備事業）

1,614万円

問 コミュニティ助成事業補助金の内容について説明を求める。

答 自治会等のコミュニティ活動に必要な備品等の整備に対し、（一財）自治総合センターが行う宝くじの社会貢献事業を活用し、市経由で助成を行うもの。今回、西根8区集会所のエアコン設置等が採択となり、予算を計上した。例年、秋頃に申請、翌年春に採択となるが、自治会等からの要望件数が多いため、抽選を行い申請している。

問 適地候補地の現況調査の実施場所。また、児童生徒や保護者の意見を反映する予定はあるか。

答 現況調査は、角田中学校、北角田中学校、旧角田女子高等学校を予定している。適地選定の中間案、建設に係る基本計画の中間案が示された各タイミングで、説明会・パブリックコメントを行う予定で、児童生徒の意見を基本計画に反映させるためのワークショップの開催も検討している。

賛成討論
菅野 マホ

今回の補正は、歳入では定額減税補足給付金支給に係る物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の増額のほか、歳出では4月1日付けの人事異動等に伴う人件費補正、その他事業費の補正等について所要額の予算措置を行うものであり、詳細については当局の説明で十分に理解し賛成する。



反対討論
日下 七郎

給与費明細書の職員人数を補正前（当初予算）と比較すると11人減である。職員人数279人に派遣された職員10人が含まれ、そのうち8人の給料、手当および旅費が予算措置されているが、それは角田市ではなく、地方自治法の規定で派遣先自治体の支払いであるため反対する。



この議案にも注目！

議案第47号

財産の減額貸付について（旧藤尾小学校）

令和5年3月に閉校した旧藤尾小学校（土地、校舎、体育館等）について、有効活用を図り、地域活性化等に資するため、民間事業者に10年間貸し付けるもの。

なお、市内の閉校した学校の民間事業者への貸し付けは、旧東根小学校に続き2例目となります。



議案第49号

一般会計補正予算（第3号）

商工振興費

（地域消費喚起緊急支援事業）

3割増商品券の販売方法が、昨年度から申込制となり、抽選や当選通知発送で時間や費用を要した点について、検討を行ったのか。

答 並ばずに購入できたが使用期間が短い、希望セット数が購入できなかった等の意見があったため、使用期間を5カ月に延長し、購入可能数を上限4セットとした。また、購入希望者の利便性の向上と事務の効率化を図るため、パソコンやスマートフォン等のウェブからの申込み方法を追加する予定である。

5,853万円

6月7年度

3割増商品券販売

事前申込制となります！

事前申込期限 8/8日まで

13人の議員が市政を問う

議員▼第420回定例会で、角田市の資源循環型農業をより発展させるために有機農業産地づくり推進事業（オーガニックビレッジ）を活用すべきとの質問に、一角田市第6次長期総合計画で示したとおり、資源循環型農業とともに有機農業などの環境負荷低減のための取り組みも推進しており、国の財源を積極的に活用し、取り組んでまいりたい。」との答弁であった。

その後の経過を問う。

市長▼オーガニックビレッジは、生産者と集荷・販売を担う関係団体との連携や先進的に取り組んでいる団体等との連携が重要である。また、ビジョンや計画の策定時期でもあり、いろいろなどころに働きかけや意見聴取をして、前向きに取り組みたい。

議員▼近年、オーガニッ

クビレッジを推進する自治体を中心に、需要の創造（有機農業推進の起爆剤として）と食育促進を旨として学校給食に有機農産物（特に米）を導入する事例が加速している。角田市も、子どもたちに有機農産物の提供を検討する時期にきていると思うがどうか。

市長▼学校給食で有機農産物を提供することは、地域経済の活性化や食育環境の促進、何よりも安全な食品を子どもたちに提供することにつながり非常にメリットがある。一方で、高価格、安定供給の難しさ等の課題があることから、総合的に勘案して、今後、調査研究し活用につなげていきたい。また米については、これまでの経緯を踏まえ今模索している。

議員▼令和5年に北海道旭川市と大阪府泉大津市

が農業連携協定を結び、令和6年、一緒にオーガニックビレッジ宣言を行った。生産地では、有機農業を通じて農村振興に寄与し、提携都市では、平時に有機農産物等を学校給食で使用し、不測の事態が生じたときは、それを活用し安定的に食料を確保できる。この協定は、角田市と友好都市である東京都目黒区とのさらなる関係強化の参考になると考えるが、市長の見解を問う。

市長▼現在、角田市の安全・安心な農産物を活用し、目黒区と連携強化を図ることが可能か、生産者や関係機関と情報を共有している。関係人口の創出や経済連携の強化、カーボンニュートラルなどの観点からも関係強化を進めており、提案のあった学校給食も含めて検討していきたい。

議員▼職員録によると派遣された職員10人、派遣を受けた職員2人を確認できるが、派遣された職員10人は、定数外職員となるのか。

市長▼職員定数条例第4条の定数外の規定では、地方自治法第252条の17や公益的法人等への派遣条例により派遣された職員は定数外となる。また、割愛制度を利用して職員も定数外となる。そのため、本年度派遣された職員10人のうち、第4条に基づき定数外の職員は5人となる。

議員▼派遣された職員10人の給料、手当（退職手当を除く）、旅費は、法第252条の17第2項の規定に基づき、派遣を受けた普通地方公共団体や公益的法人等の負担となるのか。

市長▼法第252条の17

第2項の規定の対象となる職員1人と割愛制度を利用して職員1人は、全て派遣先の支給となる。それ以外の8人の給料等は角田市より支給し、派遣先の業務による時間外勤務手当および旅費は派遣先の支給となる。

議員▼派遣された職員10人のうち8人の給料等を角田市が支給することは法令に触れる状況で、財政的に問題である。このやり方は誤りではないか。

市長▼派遣された職員8人は、研修派遣や人事交流であり、角田市は、法律にのっとり対応をしている。法律に触れないと確認をしている。

議員▼派遣された職員10人のうち、派遣先の給料等の負担が2人、それ以外の8人の給料等の角田市の負担額を問う。

総務部長▼1人当たりの

人件費を500万円と仮定した場合、4000万円程度となる。

議員▼第6次角田市定員適正化計画のまじめにある「職員の他自治体等への派遣」は、法第252条の17で規定している職員の派遣と矛盾していると思うが。

市長▼法第252条の17の規定に基づき派遣された職員は現在1人である。角田市では、人事交流や研修派遣を実施しており、計画は、毎年5人程度のところ、本年度は10人のため、確かに齟齬があるとの指摘を受けるのも当然と言わざるを得ない。しかし、多種多様で深化した住民ニーズに 대응する職員の能力開発、派遣先組織と人脈を通じてパイプを持つこと等は重要であり、積極的に進めていくべきと考える。



有機農業産地づくり推進事業（オーガニックビレッジ）の取り組みの現状について

戸村 眞喜夫



第6次角田市定員適正化計画について

日下 七郎



一般質問とは、角田市のさまざまな課題などについて、市長や教育長などに対し、事務の執行や将来の考えを質することです。質問は一问一答で、議員1人につき30分以内（答弁時間は含めない）で行われます。

質問した議員ごとに要約してお知らせします（その他の質問の要約は掲載されておりません。）。詳細は、各議員名の下の二次元コードを読み込み、録画映像をご覧ください。

質問議員 （質問順）	質問項目	頁
戸村眞喜夫	有機農業産地づくり推進事業（オーガニックビレッジ）の取り組みの現状について	5
日下七郎	第6次角田市定員適正化計画について その他の質問 ・熱中症等の対策について ・物価高騰対策について	5
武藤広一	国営施設応急対策事業「角田地区」農家負担の全額助成について	6
星隆悦	行政区の現状と課題について その他の質問 ・令和5年度角田市決算状況について	6
渡邊誠	コメ価格高騰に関連して デフリンピック競技大会と聴覚障害者への支援について	7
菅野マホ	宇宙と角田市の未来（その2）支援と協力について	7
八島定雄	「いごも誰でも通園制度」にどう対応するかについて 横倉の愛宕神社自然公園前の市道横倉高倉線の幅員拡幅工事について	8
小湊毅	角田市の学校給食について	8

ライブ・録画配信をやっています

<http://www.kakuda-city.stream.jfit.co.jp>

インターネットを利用してパソコン・スマートフォン・タブレット端末でライブ中継がご覧になれます。
また、インターネットによる録画中継の配信も行っています。



角田市議会 映像配信 検索

第432回（令和7年6月）定例会

傍聴者数 6人
インターネットライブ中継視聴者数 延べ 232人

インターネット録画中継視聴者数
4月～6月 延べ 1,209人

質問議員 （質問順）	質問項目	頁
齋藤 強	安定して持続可能な地域医療・介護体制の提供について 主要地方道丸森柴田線（坂津田工区）における交通事故多発への対応について	9
柄目 孝治	阿武隈急行線存続に関して ハラスメントの実態とその対応について	9
菊地 利衛	ゼロカーボンシティ実現で地域活性化を	10
瀧口 聖人	角田市の選挙投票率UPの施策について 角田市内の医療機関の継承について	10
齋藤 克敏	子育て支援施策について 子どもの体験格差と体験の担い手育成について	11



国営施設応急対策事業「角田地区」農家負担の全額助成について

武藤 広一



一般質問の映像配信をご覧ください。

議員▼令和元年より始まった、国営施設応急対策事業「角田地区」（応急対策事業）の進捗状況について、当初と現時点での総事業費はいくらか。
市長▼当初、59億円であったが、現在、資材や油脂費、人件費の高騰により、令和8年4月時点の見込み額は72億4600万円である。
議員▼事業完了予定年度はいつか。
市長▼施設撤去、原形復旧を含め、令和10年度の予定である。
議員▼事業完了後の農家負担の支払予定時期、支払率および支払予定額は。
市長▼令和10年度に事業完了した場合、令和11年度から支払いが生じる。支払率は、国のガイドライン上の負担割合5%のうち、その重要性を考慮し、7割相当の3・5%を市が負担することで協議が整っているため、残り1・5%が農家負担となる。予定額は6472万5000円である。
議員▼国営総合農地防災事業「角田丸森地区」（防災事業）は、農家負担はない。防災事業の着工予定年度と事業概要は。
市長▼着工予定年度は、令和12年度で、現在、地区調査を行っている。事業概要は、江尻第3排水機場と岡排水機場を廃止し、総合機場として江尻第2排水機場を新設する。また、小田排水機場を新設し、丸森町館矢間地区の既存の堀切排水機場を撤去、新設する。
議員▼それぞれの排水能力は。
市長▼現時点で、江尻第2排水機場は毎秒38トン程度で、江尻第1排水機場と合わせると毎秒100トン程度となる。小田排水機場は毎秒9・7トン程度、堀切排水機場は毎秒8・8トン程度を予定している。
議員▼応急対策事業により、江尻第1排水機場の一番の懸案事項であった移動式の除塵機が、固定式（ロータリー式）に改修され、4台のポンプのフル稼働が可能となった。付帯施設等も改修され、耐震化が進められている。よって、令和元年から始まった先発の応急対策事業は、後発で始まる防災事業と一体的な施設であり、農家負担を全額助成すべきだ。
市長▼応急対策事業は事業の目的から、一定程度の農家負担が必要だと考える。一方、農家の経済状況、物価高騰、人件費高騰等を考慮し、農家負担の軽減についての要望を、国・県、市で考慮することを善処したい。



コメ価格高騰に関連して

渡邊 誠



一般質問の映像配信をご覧ください。

議員▼近年の物価高騰、昨年から大幅なコメの価格高騰は、市民生活に大きなダメージを与えている。角田市として対策を検討しているのか。
市長▼市民の経済的な負担軽減と地域経済の活性化を図るため、商工会が実施する3割増商品券発行事業に対する補助を、今期定例会最終日に議案を上程予定である。
議員▼仙南一のコメ生産地である角田市として、持続可能な農業経営に誘導するため、新たな施策を検討すべき局面と思うが、市長の所見を問う。
市長▼コメ政策は、今後、国で新たな政策が示されると思われるので、動向を注視し、適時適切に対応を進めていく。また、生産者と話し合い、方策を見定めていきたい。
議員▼コメの生産コストを抑制していく政策、農家所得を補償する政策を、国に向けて発信いただきたい。
市長▼コメ作りで生活できる環境がなければ、誰もコメを作らない世の中になりかねないと危機感を持っている。国や県に意見を伝えていきたい。
議員▼価格高騰の中、小中学校の米飯給食は支障なく提供できているのか。
教育長▼大きな支障はない。安全安心米の提供を毎日実施している。
デフリンピック競技大会と聴覚障害者への支援について
議員▼本年11月15日から26日まで「第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025」が日本で初めて開催される。デフリンピックについて、市長の認識を問う。
市長▼聴覚障害のあるア



行政区の現状と課題について

星 隆悦



一般質問の映像配信をご覧ください。

議員▼角田市では、行政事務の円滑な遂行を図るため、行政区を設置し、行政区長を住民の推薦に基づき委嘱している。市が定める規則で、役割や所掌範囲を明確にしているが、疑問点や課題点について質問をする。
現在、行政区を運営している団体（各行政区）は、自治会・町内会という位置付けとなるのか。
市長▼行政区と自治会・町内会は目的や機能が異なるが、現状、ほとんどの行政区の区域が自治会の範囲と同一であるため、自治会長が行政区長を兼ねている。
議員▼行政区長の身分上の位置付けを問う。
市長▼行政区長は、令和2年の法改正により私人の位置付けだが、地域課題や地域防災について市に意見等ができるよう、市の附属機関である行政区運営協議会委員に委嘱し、特別職非常勤職としての公務員の身分を持つ。議員▼行政区長の任務に行政支援業務（行政連絡文書等の配布や災害時の市との連絡調整等の業務）と集落支援業務（地域の維持・活性化のための話し合い等の業務）がある。行政支援業務のうち、文書配布の負担について、従来から指摘されている。例えば、配布の民間委託やホームページに掲載しているの配布を止める等の改善策を検討しているのか。
市長▼配布物は、関係機関からもあり、大幅な削減に至っていない現状にある。また、民間委託でのポスティングや新聞折り込みによる配布についてはメリットだけでなくデメリットがあることや、ホームページ等のデジタルのみの閲覧は、高齢者の立場になると直ちに実行することは難しい。
議員▼行政区長の謝金等は、月額均等割が2万5200円、世帯割が120円だが、引き上げはどうか。
市長▼行政区長業務の役割の重要性に鑑み、令和3年度に均等割を3割引き上げている。他業務との均衡や他自治体の動向も参考に検討する。
議員▼人口減少や定年延長等による役員の成り手不足対策として、行政区の世帯等に著しい増減が生じた場合や住民の要望があれば、統合・分割できる。行政区の統廃合について、見解を問う。
市長▼行政区の統廃合は、地域の事情や住民の意見を最優先で考え、慎重に進める必要がある。



宇宙と角田市の未来（その2）支援と協力について

菅野 マホ



一般質問の映像配信をご覧ください。

議員▼宇宙関連の企業誘致が始まり「宇宙のまち」と呼ばれる一歩を踏み出した角田市。今回は支援と協力について質問する。
JAXA年次業務報告会で市長は「宇宙飛行士やJAXAの職員を輩出するなど人材育成に協力していきたい」と言及したが、詳細を問う。
市長▼1人でも多くの子どもたちが宇宙や最先端技術に興味・関心を持つきっかけづくりができれば、その後の進路選択にもよい影響を与えるものと確信をしている。将来的には、本市出身の宇宙飛行士やJAXA職員になる若者が現れることも期待し、継続的に宇宙教育を推進していく。
議員▼前回の一般質問において「日本宇宙少年団はJAXAと連携した青少年活動だが、何度も休眠状態になり市に支援と協力が必要」と訴えたところ、市長は「永続的に活動するのはあるべきことだと思っている」と述べたが、どのような支援が必要と思うか。
市長▼宇宙少年団の活動再開はとても喜ばしいことで、今後のさまざまな活動の中で生じる課題により、行政としてできる支援が明確になったら、具体的に検討していく。
議員▼企業版ふるさと納税に「宇宙のまちかくだの青少年育成、特に最初に多くの資金が必要な日本宇宙少年団の活動に使ってほしい」と、企業様より寄附の申し出を受けたが進捗を問う。
市長▼問い合わせはあるが、寄附の申し出には至っていない。
議員▼5月に、国会議員の紹介で「企業版ふるさと納税」の企画・運営をする内閣府地方創生推進



八島 定雄

「何でも誰でも通園制度」にどう対応するかについて



議員▼来年度から「何でも誰でも通園制度」を導入していく考えはあるか。

市長▼実施に向けて、現在、準備を進めている。

議員▼基準決定、条例制定、ニーズ調査、事業者募集、市民への周知、希望者の受付、利用認定など、日程について問う。

市長▼市内の事業者への事業内容説明と利用者のニーズ調査を7月から9月までに実施し、事業者や利用者の意向を把握した上で、どのような事業実施体制を整えるべきか検討する。条例と予算を12月議会に上程し、可決されれば、令和8年1月から制度の周知、希望者の受付、利用認定となり、4月から利用開始できるように進めていく。

議員▼子どもの安全性を担保する上でも、①内閣府令を上回る人員の配置、

②事業者への独自の助成事業の実施、③事業実施者への安全基準の厳格化など、内閣府令を上回る基準の制定をする考えがあるか。

市長▼事業者や利用者のニーズ調査を実施し、事業量等を把握した上で、市独自の基準の制定が必要かを判断していくこととなるが、子どもの安全・安心を優先して対応していく。

議員▼この制度は、全ての子ども（障害のある子ども、医療的ケアの必要な子ども、外国籍の子ども、要支援家庭の子どもなど）を対象としている。現時点で、どの程度までまっているのか。

市長▼現状、本市では体制が全て整っているとは言えないので、今後、検討する上でも、困難な状況が予想される。

横倉の愛宕神社自然公園前の市道横倉高倉線の幅員拡幅工事について

議員▼危険性を早期に回避するため、市道の幅員拡幅工事が必要と考える。今後の工事計画を示して欲しいがどうか。

市長▼防災・減災構想に基づき、災害時避難経路となる緊急性の高い道路から順に対応している。今後は実施計画に位置付けして、計画的に進めたい。

議員▼市道の幅員拡幅工事が数年先となれば、転落事故の危険性を憂慮するとガードレール、デリネーターなどの設置が必要と思うが。

市長▼暫定の安全対策として、路面標示による注意喚起、ガードレールなどの設置は、早急に対応していきたい。



齋藤 強

安定して持続可能な地域医療、介護体制の提供について



議員▼確保が困難な看護師等は紹介会社を利用するケースもある。高額な紹介料の一部助成や就職祝い金制度等を創設し、金銭的支援をしては。

市長▼地域医療の全体的な課題を整理し、効果的な支援策を検討していく。

議員▼個人の資格取得費用も高額である。費用の助成制度を創設しては。

市長▼支援策の一つとして検討していく。

議員▼資格はあるが働いていない方への企業説明会等を企画しては。

市長▼ハローワークで宮城県看護協会と連携した就職のための就業相談を実施していく。

議員▼公共施設に求人コーナーを設け、募集チラシを閲覧可能にしては。市長▼信頼性や公平性等、検討すべき課題がある。

が、応募はきていない。議員▼診療・介護報酬の人員費や物価高騰に追いつかない改定で深刻な経営危機である。大幅な引き上げ改定を要望すべき。市長▼全国市長会を通じて要望している。議員▼市立病院を開設し、民間一体となって医療提供体制を確保しては。市長▼対策案の一つであるが、既存医療機関へのより効果的な支援策を検討していく。

議員▼みやぎ県南中核病院は赤字経営が続いている。構成自治体以外の自治体も負担すべきでは。市長▼現在、議論がなされており、平等性の観点からも応分の負担をしてもらうよう協議していく。議員▼退院後、行き場を失わないため、入所施設を増やしていくべきでは。市長▼市内の施設・定員数は、全国・県平均より1・5から1・6倍程度高く、現時点で増やす必要は少ないと判断する。議員▼前回の介護報酬マインナス改定で、訪問介護事業者の経営も圧迫している。ガソリン代の補助制度を創設すべきでは。市長▼国の補助事業として、県は人材確保や経営改善に対しての支援事業を開始しており、市内事業所に周知している。

要は少ないと判断する。議員▼主要地方道丸森柴田線（坂津田工区）における交通事故多発への対応について

議員▼開通後2カ月半の間に8件の交通事故が発生している。うち7件は同じ交差点のため、信号機を設置すべきでは。市長▼角田警察署では、設置基準を満たしており、設置は困難との回答であった。一時停止の標識、停止線の設置等で、安全対策を図っている。議員▼広報やホームページ等で注意喚起すべき。市長▼駐在所だよりや自治センターだより等、注意喚起をしている。

議員▼「鉄道事業再構築」に向けて自治体間で大きな意識格差があると認識しているが、見解を問う。市長▼令和5年10月に福島県側、令和6年10月に宮城県側が鉄路存続で合意をしており、沿線自治体の意識統一が図られたものと認識している。



柄目 孝治

阿武隈急行線存続に関して



議員▼「鉄道事業再構築」に向けて自治体間で大きな意識格差があると認識しているが、見解を問う。市長▼令和5年10月に福島県側、令和6年10月に宮城県側が鉄路存続で合意をしており、沿線自治体の意識統一が図られたものと認識している。

議員▼ハラスメントは生活の中で当たり前のよう存在する。行政認識はどうなのか。市長▼ハラスメントは、嫌がらせ、不快感などの意味があり、他者に心理的・身体的苦痛を与える行為と総称できる。深刻な問題として浮上していることは行政にとっても重要かつ重大な課題であると考えている。

議員▼今日、多くの自治体でハラスメント対策に行政力を傾注し、法制化・条例化し対処する構えが目立っている。しかし、対象は広範囲で、実効は期待薄と思料する。ハラスメントは、被害が生じてからどうするかではなく、発生させないことが肝要としている先進事例もある。角田市でもハラスメントが潜在するという前提の下に、どう進めていくべきなのか、市長の所見を問う。市長▼ハラスメントをなくすることは極めて困難であり、その根本的な解決には多層的かつ継続的な取り組みが必要である。特に、発生させないために、職場や地域社会全体での意識改革が不可欠で、教育、啓発活動、相談体制の整備等、多角的に取り組む、安心して声を上げることができる環境づくりも必要と考える。市職員として、一つの社会の指標でもあるため、自分たちから襟を正し、未然に防ぐ体制をしっかり整備していく。



小湊 毅

角田市の学校給食について



議員▼学校給食費の無償化からしばらくたつ。今回、学校給食の気になる点について質問をする。過去にあった学校給食のカロリー不足について、現在の状況を問う。

教育長▼令和7年度のこれまでの平均カロリーは、小学校の献立で基準値650キロカロリーに対し101・2%の充足率、中学校の献立で基準値830キロカロリーに対し95・9%の充足率。中学校の献立で、若干のカロリー不足となっている。議員▼最近の物価高騰で、唐揚げ1個だけ給食、1品減らす、ご飯の量を減らす等の報道があった。本市の6月の予定献立表から、しっかりと対応していることがわかる。

このまま続けていたいただきたいが、3月の予算審査の賄い材料費の予算額

1億1700万円では不足が生じると推測する。学校給食費の単価は、年に一度、一人当たりいくらかという決め方をしていると思われるが、年度途中の見直しはあるのか。

議員▼今後、見直しをする前提で動いていくのか。

教育長▼学校給食費は、今年4月に改定しており、小学校で25円、中学校で30円の上げ幅となっている。現時点で改定の予定はないが、栄養バランスを考慮し、安全で安価なおいしい食材の購入に努め、それでも対応しきれない場合、見直しの検討が必要となる。

議員▼地元産食材の利用拡大を図るため、市内でいつ、何が、どの程度収穫できるかを把握し、生産する側と使う側の調整の場を設けるべきと考えるが、市長の所見を問う。市長▼地元産食材は、優先的に利用するよう努めており、統一規格や数量の確保、欠品対応等の課題がある一方で、子どもたちのふるさとへの愛着や感謝の心を育むことにもつながる。また、地元産食材の把握は必要であり、計画的な生産体制、参画できる方を募る等、調整や検討していくことは有効と考える。

令和6年度 政務活動費収支報告

角田市議会では、会派（会派に所属していない議員を含む）の市政に関する調査研究活動等に資するために必要な経費の一部として、角田市議会政務活動の交付に関する条例に基づき、議員1人当たり月額5,000円の政務活動費を使用することができます。令和6年度の政務活動費収支報告は以下のとおりです。

(単位：円)

会派名又は議員名	交付額 (A)	支出額 (B)	返還額 (A)-(B)+(C)		
			調査研究費	広報費	資料購入費
会派一心（4人）	240,000	125,254	80,071	45,183	
かくだ未来倶楽部（3人）	180,000	0			
日本共産党角田市議団（2人）	120,000	0			
無会派 齋藤克敏	60,000	5,940			5,940
無会派 湯村 勇	60,000	0			
無会派 齋藤 強	60,000	0			
無会派 星 隆悦	60,000	28,962	28,962		
無会派 柄目孝治	60,000	0			
無会派 堀田孝一	60,000	0			
無会派 馬場道晴	60,000	0			
合 計	960,000	160,156	109,033	45,183	5,940

※返還額（残額および利子）は市に返還済です。

用語解説

調査研究費：会派等が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究および調査委託に要する経費

広報費：会派等が活動または市政について住民に報告するために要する経費

資料購入費：会派等が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費

※政務活動費に充てることができる経費として、人件費、事務所費、会議費等もあります。

政務活動費の収支報告に係る関係書類は、市議会ホームページで公開しています。



議会日誌

17日	10日	6日	3日	1日	30日
本会議（第2日）	議会運営委員会	会派代表者会議	議員協議会	議会だより第232号発行	第432回定例会招集告示
					会派代表者会議

16日	23日	20日	19日	18日
議会だより編集会議	議会運営委員会	本会議（第5日）	本会議（第4日）	本会議（第3日）
				議員協議会

詳細は、市議会ホームページをご覧ください。	アンケート結果の一部をお知らせします。（モニター8名）	Q5月号で興味を持った記事はありましたか。（複数回答）	①定例会「概要・質疑」2人	②条例審査5人	③会派代表質問3人	④予算審査特別委員会2人	⑤議案審議結果3人	⑥一般質問（質問項目）4人	⑦一般質問（質問内容）7人	⑧行政視察の報告2人	⑨議員研修会2人	⑩6月定例会の予定0人	⑪興味を持った記事はなかった0人
-----------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------	---------	-----------	--------------	-----------	---------------	---------------	------------	----------	-------------	------------------

令和6年度中にいただいたご意見・ご提案への回答	●モニター 議会だより編集会議委員	●議案審議結果は、すべての議案を○×にした方がわかりやすいのでは。	●全議員の賛否がわかるように変更しました。	●定例会の予定に、傍聴可能日を掲載しては。	●傍聴可能日の記載を追加しました。	●議論の写真は正面を向いている方がよい。	●ご指摘ありがとうございます。写真選定時の参考にします。
-------------------------	-------------------	-----------------------------------	-----------------------	-----------------------	-------------------	----------------------	------------------------------

議会だより第232号(5月号)アンケート結果

自由討議

「10年後以降の角田市と仙南圏の医療について」

【通告者】菅野 マホ
先日、角田市医師会と市議会議員との情報交換会が開催され、医師会より角田市と仙南地区の医療体制について「危機的状況である」と問題提起された。①継承者不足、②建物の老朽化、③医師・看護師不足、④高額な紹介料（年収の30%）、⑤不十分な休日当番医の補助（1科4万5000円）等、さらに、物価高騰で電気代や医療機器、あらゆるものの値段や人件費が引き上がっている一方で、診療報酬がそれに見合わないという問題が医療崩壊へと拍車をかけている。

また、みやぎ県南中核病院の2023年度決算は8億円の赤字である。入院患者の43%、外来患者の37%、救急搬送の43%が構成自治体外であることから、私は、他自治体にも負担をお願いするべきだと企業団議会で訴えている。

医療危機は待ったなしだ。角田市民の命と健康を守るために議員間で情報共有し、動いていかねばならないと考え、自由討議をする。

～発言者および発言内容は次のとおりです～

齋藤 克敏▼医師や看護師等として働く方が、家庭と仕事を両立し働ける環境整備や、子育てや介護と仕事の両立には社会の理解と支援も必要だ。社会のさまざまな課題の根は深く、相互に関連がある。少子高齢化、過疎化、人手不足、どれも簡単に解決できない。これまで地域医療を維持するために、医療従事者の使命感に頼っていた面もあるが、今後はより体系的にまちづくりと医療のあり方を考える必要がある。

柄目 孝治▼菅野議員の発言に関し、総じて同感である。この地域の問題や課題を整理し、対応策を模索し、着手することが求められていると察する。基本的には、国の医療行政に強く訴えていくこと、また、市民の立場から大変重要なテーマであり、身近な行政体である単独自治体、広域自治体における対応など、具体的・現実的目標を打ち立て、行動に移す場面と思考する。

武藤 広一▼市の医療問題が大変厳しい状況にあると認識した。医療問題は、市だけの問題ではなく、仙南圏域、県を含めて全国的な問題だと推察する。後継者の問題、建物の老朽化、医師、看護師等のスタッフ不足等々、国の働き方改革で更に拍車がかかったと思う。やはり、仙南2市7町の首長が仙南地区の医療問題について話し合い、行政が主体となって進めるべき。我々議員も調査研究をすべきだ。

齋藤 強▼地域医療は、既に危機的状況である。持続可能な地域医療を提供していくためには、自由討議も有効と思うが、現状や課題を改めて再認識することに加えて、医療や病院についての知識を蓄積しないことには、議論や対策も見えてこないと考える。

また、医療だけでなく介護や福祉も密接な関係にあるため、併せて対策を検討していく必要があるものとも考える。

日下 七郎▼「医療崩壊へと拍車をかけている」ことの解決策として、国・宮城県・角田市に補助金を求めるようだが、物価高騰や実質賃金増を補える診療報酬の引き上げを国に求めることこそが角田市医師会の求めることだと思う。みやぎ県南中核病院構成自治体外の自治体に負担金を求めることは、地方自治法の規定に違反する行為。宮城県は、市町村が公立病院創設時に、助成金の率を隣接県並みとすべきだ。

八島 定雄▼医療機関の経営危機の原因は、診療報酬（本体＋薬価等）の6期連続のマイナス改定（2年ごと）で、その結果、全国約6割の病院が赤字。来年度の診療報酬改定を待たずに「期中改定」を実施すること。また、緊急の国費投入で、医療崩壊を止め、医療従事者の待遇改善を強く求めていることが必要だ。「このままでは、ある日突然、病院がなくなる」危険性が、十分ありうる。

湯村 勇▼人口減少が進む中、医療や介護の現場の人員不足問題、施設の老朽化問題等、既に角田市においても影響が出ている状況において、一自治体で解決できる問題ではない。議会として、国に働きかけていくべきである。

戸村眞喜夫▼宮城県や仙南地域もしくは角田市の医療構想や計画があるならば、それらを参考にして医師会からの情報を現状分析していくことが必要なのではないか。

「自由討議」とは、議案や市政の課題等の問題点について、各議員が意見を出し合い、論点を明確にすることで、市議会として合意形成を図る、また、提言等をするための制度です。

～かくだ市議会だよりの表紙の写真・絵画を募集しています～

皆さんの写真や絵画で 角田市の魅力を 伝えてみませんか

かくだ市議会だよりは
1月、2月、5月、8月、11月の年5回発行しています。
市民の皆さまに親しまれ、議会活動について身近に
感じていただけるかくだ市議会だよりを目指し、
表紙の写真・絵画を随時募集しています。
皆さまの応募をお待ちしています。



募集内容

市内に関する人物、四季折々の風景、行事などの写真
や絵画（イラスト）で、応募者本人に著作権がある未
発表・オリジナル作品

※被写体が人物や他者の所有物である場合は、必ず被写体本人
または所有者の承諾を得ください。

応募要件

市内に在住、在勤または在学のいずれかに該当する方

応募方法

かくだ市議会だより表紙応募用紙に必要事項を記入の
うえ、議会事務局に提出してください。

その他

- ・議会だより編集会議で採用作品を
選考します。
- ・詳細は市議会ホームページをご覧
ください。



▲市議会HP

11月1日発行

応募締切

10月1日(水)

令和8年2月1日発行

応募締切

12月17日(水)

編集後記

5月8日に第31回角田市・石川町議会議員親善交換会が開催され、本市議会議員14名で石川町を訪問して参りました。歴史民俗資料館を視察し、親善交換会はニュースポーツのボッチャの競技でした。初めての競技でしたが、全議員、楽しく競技に熱中しておりました。結果は、団体戦は石川町で、個人戦が、投球のコツをつかんだ本市の八島定雄議員が優勝しました。その後、猫啼温泉にて親睦を深めての帰宅となりました。来年は角田市での開催になります。来年の開催が楽しみです。石川町には負けません。

議会だより編集会議
委員 瀧口 聖人

9月定例会の予定 会期9月5日(金)～10月2日(木)

日	月	火	水	木	金	土
※この予定表の会議は、すべて傍聴が可能です。 ※本会議(太字)と決算審査特別委員会はライブ配信(生中継)を行います。					9/5 提案理由説明	6
7	8	9	10	11	12 常任委員会	13
14	15	16	17 質疑・自由討議 決算審査特別委員会	18 決算審査特別委員会	19 常任委員会	20
21	22 討論・表決 決算審査特別委員会	23	24 決算審査特別委員会	25 決算審査特別委員会	26 一般質問	27
28	29 一般質問	30 討論・表決	10/1	2 最終日		

※本会議(太字)は午前10時に開会します。

発行：角田市議会 編集：議会だより編集会議

〒981-1592 宮城県角田市角田字大坊41

TEL(0224)63-2124 FAX(0224)62-4829 E-mail: gikai@city.kakuda.lg.jp

印刷／佐藤印刷株式会社



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。